

平林・砂山小学校 統合合同検討会（第2回）会議録（要旨）

【H28. 10. 3 砂山小学校】

参加者：23名（各代表者）

小学校保護者11名、保育園保護者2名、集落区長5名、郷育1名、学校4名

- ・開会
- ・教育長あいさつ
- ・検討事項
- ・今後について

- 参加者 9月30日にPTAと平林小学校区区長会の合同会議を開催した。その話し合いで統合にはおおむね異議はないが、現時点での統合先として平林中学校にしてほしい。その理由は3点ある。1点目は両校の中間に位置する。2点目は立地上の安全面で、高速道路が津波の防波堤の様な役目をするのではということ。3点目は中学校の統合の方が早く、平林中学校の活用が可能であること。
伺いたいのは、急に統合の問題が出た真の理由は何なのか。砂山小学校を福祉施設とすることはできないのかということ。
- 教委 一昨年から望ましい教育環境整備検討委員会へ諮問させていただいた。複式学級であったり、すぐ複式学級が生じるだろうと思われる学校を対象に適正な学校配置ということで諮問させていただいた。国のほうからも早急に適正規模を検討すべきと指導もあった。今年の2月に答申を受けて教育委員会はすぐに整備計画を策定し、市幹部、市議会にも説明を行い進めてきた。砂山小学校の福祉施設化については前回もお話を聞いたが、旧神林村の幹部、職員にも話を伺ったが、そういった話は一度も出されていない、そのように砂山小学校を建てたということでは自分たちの認識ではないということであった。また現在もそういった計画はないとのこと。公共施設を再利用して老人福祉施設にするのはそう簡単ではなく、民間の方々にこの施設を使ってもらおうというのは、ちょっと考えにくいのではないかとということであった。
- 参加者 砂山小学校が福祉施設になるのかどうかということであって、役所の方でこれを福祉施設として使うことが出来るのかということを知りたい。例えば平林小学校でも、平林中学校でも空くわけで、空いたら何に活用をしていくのか。何かに使わなければならないが、砂山小学校は福祉施設に使った方が良いのではないかと思う。その辺のところを教育委員会だけではなく村上市としてこれをどう活用するのか、きちんと出すべきではないのか。活用も考えて議論してほしい。
- 参加者 平林中学校の跡地については統合小学校にならないのか。費用の面も含めてどうしたら平林中学校を小学校にできるのか。また、新たに学校を建設するとなるとどのくらいの費用がかかるのか。
また中学校は1校になるが、先を考えて小学校も1校にできなかったのか。またそういった計画があるのか。
- 参加者 コストを考えると現校舎をこのまま使える砂山小学校がベストと思う。平林小学校、平林中学校を校舎とすれば、改築等にかなりのお金がかかる。砂山小学校を老健施設に転用するにはお金をかければできるが、そこまでしてどうかと考える。
利活用についても含め、一番お金のかからない方法を模索する必要があるのではないか。平中は確かに中間でよいが、改修等には税金が使われる。一番コストがかからない方法を提示してもらいたい。

- 教委 平林中学校にはプールがないので、新設すると約2億円かかる。ご承知の通り合併特例債も終わり、財源も少なくなっている中、この統合に関わるところで、朝日地区においては、共同調理場を1つに立て替えるということで計画されている。神納地区3小学校については統合校舎を増築しなければ使えない。また、統合に関わらない学校についても様々な改修等計画もある。そのような中で平林中学校を小学校にとなれば様々な改修が必要となり、財源的にもどうかと思っている。
神林地区1つの小学校にするということについては、将来はそうなるかもしれないが現在で見えている6年後、生まれている子どもはそこまでしか見通せないで、その範囲内では児童と一緒に入れる校舎がないため、大幅な増築か、新築をしなければ対応できないことから現在は考えていない。
新しい校舎を建てた場合の費用であるが、山辺里小学校の場合、校舎、体育館、プール、グラウンド、すべて合わせて約21億7千万円となっている。
- 参加者 そこに住んでいる人間にしか分からないこともあり、当たり前だという感覚から視点を住民の視点にしてもらわないと地域の住民に説明ができない。客観的に見るのは行政の方であるのでその辺を出してもらって、それを受けてどうなのかということをしっかり出してほしい。何回も同じような話になってしまう。
- 教委 砂山小学校に決めたわけではなく、皆様方の意見を聞いた上で、決めていただきたい。
- 参加者 跡地利用についても、しっかり考えていかなければいけないとも思っているが、その辺はいかがか。
- 教委 跡地利用についてはこれから合同検討会から統合推進委員会を設置して、新設小学校に向けて色々な相談をするのと同時に、今後どこが音頭を取っていくのかまだ定かではないが、跡地の利活用に向けての動きを同時に進めていきたい。その中で地域の声も聴いて、市や行政の活用の願いもあるので、そういう声も生かしながらより有効で、地域にとってのコミュニティの場となれるよう考えていきたい。
- 参加者 話にあがっている3校のことは内部がどうなっているか分からない。保護者の目線で内覧会をやってほしい。知らないところに行くのは大変不安だと思うし、3校を自分たちの目で見、判断したらどうか。
- 参加者 津波になった場合、保護者として砂山小学校に通わせることが怖い。津波が来たらどのくらいの高さ、どのくらいの時間になるのか。本当に大丈夫と言い切れるのかを聞かせてほしい。安全対策はどうか。
- 教委 ハザードマップで示しているものは、想定される大規模の津波が来た場合を想定しているものであり、安全であるとは言いえない。
- 参加者 津波に関してはここに住むものとしても心配であるが、必ずしも子どもたちが学校にいる時におこるとも限らない。誰も予測はできない。今までかつて、歴史上10m以上の津波は来ていないし経験もない。
今一度原点に戻って子どもたちの教育環境を整えることが重要であり、そのために大人がしっかりと考えるべきである。地域から学校がなくなるのは不安やさみしさもあり、そういう地域のさみしさをおさめる必要が教育委員会の務めである。
- 参加者 平林中学校校舎が活用可能かどうか、砂山小学校が福祉施設にはならず、学校施設として適切なんだと出してもらえればよい。一つ一つ検証し、メリット・デメリットをしっかりと示してもらわないと、地域や保護者に説明出来ない。白紙だといっておきながら、砂山小学校にしたいと行政は思っている。しっかりと示してほしい。
- 参加者 統合した場合、子どものストレスのケアを考えてほしい。そういう不安を取り除くために、こういう風にケアし改善するのも聞きたい。

教委 統合し一緒になることを踏まえて、早い段階から取り組んでいきたい。

参加者 しっかり比較したものを出してもらえれば、それをみて納得できる。あいまいな説明ではいつになっても納得ができず、繰り返しになってしまう。

教委 今後に向けて、3校の見学会と3校の比較表を作成し、事前配布し十分精査いただいた上で、次回の合同検討会で検討することとしたい。よろしいか。

参加者 異議なしの声多数。

・閉会